

橋立の磯邊は村々有、文珠堂のあたりはみな松原なり、略

中  
品○

**梶島** 枯木島 水口 水口といふは、うら島が住し所なり、

古事記注言

〔延喜式二十八〕諸國健兒○中  
諸國器仗略○中  
丹後國人○中  
丹後國甲三領、橫刀四口、弓十具、  
張征箭十具、胡籜十具、

但馬國

但馬國ハ、タヂマノクニト云フ、山陰道ニ在リ、東ハ丹波丹後、西ハ因幡、南ハ播磨、北ハ  
海ニ至ル、東西凡ソ十五里、南北凡ソ十二里此國ハ、古ヘ國府ヲ氣多郡ニ置キ、朝來<sup>アサコヤ</sup>養父<sup>ナフ</sup>出石<sup>イツシ</sup>、  
氣多<sup>ケタ</sup>、氣崎<sup>キザキ</sup>、美舍<sup>ミクミ</sup>、二方<sup>フタカタ</sup>、七美<sup>シツミ</sup>ノ八郡ヲ管シ、延喜ノ制、上國ニ列ス、明治維新ノ後、氣多、美舍ノ二郡  
ヲ城崎郡ニ併セ、又二方、七美ノ二郡ヲ合セテ美方郡ト爲シ、兵庫縣ヲシテ之ヲ治セシム、

〔倭名類聚抄國五郡但馬太萬知

〔運步色葉集多但馬八郡〕

〔日本風土記一  
青語鳥名但馬達什摩

官之屬二譜寄語島名

演繁露に見えたり、

〔古事記 中應神〕於是天之日矛聞其妻遁乃追渡來將到難波之間其渡之神塞以不入故更還泊多遲摩國。

〔古事記傳三十四〕多遲摩は但馬なり、名義未考。得すを以て見れば、彼人々の名に因れる某とある。